

平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月15日

上場会社名 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド 上場取引所 東
 コード番号 7829 URL http://www.samantha.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)寺田 和正
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)古市 知元 (TEL)03(5412)8193
 四半期報告書提出予定日 平成27年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	11,496	11.4	1,108	△25.0	1,133	△22.2	594	△26.5
27年2月期第1四半期	10,320	44.6	1,477	186.3	1,457	124.1	808	73.5

(注) 包括利益 28年2月期第1四半期 630百万円(△23.8%) 27年2月期第1四半期 826百万円(75.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	16.85	—
27年2月期第1四半期	22.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第1四半期	23,788	10,252	42.1
27年2月期	21,986	9,868	43.9

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 10,022百万円 27年2月期 9,653百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	5.00	—	7.00	12.00
28年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,440	12.7	1,790	0.5	1,760	0.3	855	0.2	24.22
通期	47,370	17.6	3,950	20.3	3,900	15.7	1,760	18.7	49.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年2月期1Q	35,296,000株	27年2月期	35,296,000株
28年2月期1Q	—株	27年2月期	—株
28年2月期1Q	35,296,000株	27年2月期1Q	35,296,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行の各種政策を背景に、企業部門に改善がみられるなど、緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの主要な関連業界である百貨店を含む小売業界におきましては、外国人旅行者の増加によるインバウンド効果等により好調に推移する一方で、消費税増税後の駆け込み需要の反動の長期化もあり、不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは、「良い人、良い場所、良い商品、良い宣伝」の実施を事業戦略にかかげ、効果的な店舗展開とプロモーション活動及び商品戦略などを展開してまいりました。また、当社グループの2015年のテーマを「記念日」として、様々なキャンペーンを実施してまいりました。

<店舗展開について>

出店戦略として、多くの話題スポットや新しい地域への出店、大型商業施設との取組みなどを行ってまいりました。

バッグ事業においては、23店舗を出店いたしました。国内最大級の商業施設であるイオンレイクタウンに、「サマンサベガ イオンレイクタウンkaze店」など、4ブランド出店いたしました。また、沖縄県では初出店となる「サマンサベガ&シュエット ギャラリー イオン沖縄ライカム店」、熊本県では「サマンサタバサ 鶴屋店」「サマンサタバサ サブチチョイス 鶴屋店」、大分県では「サマンサベガ&シュエットギャラリー アミュプラザおおいた店」「サマンサタバサ サブチチョイス アミュプラザおおいた店」を出店いたしました。また、ファストファッションブランド「Samantha & chouette」を「サマンサ&シュエット ギャラリー イオンレイクタウンkaze店」など、大型商業施設を中心に3店舗出店いたしました。さらに、新概念ショップ「ミミマルシェ サマンサタバササブチチョイス」をルミネ有楽町に、新業態店舗「サマンサ&シュエット スイーツ カフェ」を大阪ステーションシティノースゲートビルディング西館商業施設「LUCUA 1100」(ルクア イーレ)に出店いたしました。海外においては、韓国では2店舗、香港、中国、シンガポールでそれぞれ1店舗の出店を行い、合計5店舗出店いたしました。

アパレル事業においては、13店舗出店いたしました。株式会社ルミネと共同開発した新ブランド「And Couture(アンド クチュール)」を、ルミネ新宿、ルミネ有楽町、ルミネ横浜に出店いたしました。また、昨年度より展開しているブランド「REDYAZEL(レディアゼル)」をSHIBUYA109、LUCUA 1100(ルクア イーレ)に、「Muller(ミュラー)」を池袋パルコ、ブランタン銀座に出店いたしました。

その結果、サマンサタバサグループ合計でブランド変更を含め、前年度末比で29店舗増加し、期末店舗数は445店舗となりました。

<プロモーション活動について>

プロモーション活動としては、積極的なCMプロモーションや、多数のファッション誌への掲載、ファッションショーへの協賛などを継続して行ってまいりました。

バッグ事業においては、世界のトップモデルでサマンサミューズのミランダ・カー出演の「Samantha Thavasa ～365日、毎日が記念日～」のCMを放映いたしました。本CMでは、本物のパールを生地にあしらひ、きめ細やかなパール感とエナメルならではの光沢感がポイントのサマンサタバサの大人気シリーズ「レディアゼル」のニューカラーを紹介し、浜崎あゆみさんのCM楽曲も話題となりました。

また、EXILE のD.N.A を受け継ぎ本格的なダンスパフォーマンスを展開する女性グループ「E-girls」の楓さん、藤井夏恋さん、藤井萩花さん、佐藤晴美さんが出演し、当社グループの本年度のテーマである「記念日」と連動した「E-girls」の最新曲「Anniversary!!」をCM楽曲とした、「Samantha Vega meets E-girls」のCMを放映いたしました。

さらに、アジア最高峰のリアルクローズファッションショー「神戸コレクション」に協賛し、「サマンサタバサ」やアパレルの新ブランド「アンド クチュール」の新作商品をステージでお披露目いたしました。

ジュエリー事業においては、Samantha Tiara & Samantha Thavasa “サマンサティアラ ジュエリー”の第3弾となるCMを放映し、三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBEから、岩田剛典さん、今市隆二さん、登坂広臣さんが出演いたしました。また、本CMのお披露目会が開業3周年となる東京スカイツリーで行なわれ、CM出演者による東京スカイツリー三代目ブルーライティング点灯式も合わせて行なわれ話題となりました。

<商品戦略について>

各ブランド事業において新作を販売し、多様化するファッションニーズに応える商品を積極的に展開してきました。また、商品の魅力をより高める雑誌や人気モデルとのコラボレーションを継続し、商品の販売増につながりました。

バッグ事業においては、高品質のレザー商品である「レディアゼル」「アゼルラフィー」「アゼル フルーリ」「ルイーザ」が堅調に推移いたしました。また、2015年春のCMで大人気の「レディアゼル」のパールエナメルシリーズや、レザー素材のボストンバッグで、国産牛革の厚みのあるものだけを選別し丸みがあるフォルムの「サニーノア」を販売いたしました。昨春に続き三越伊勢丹グループ、バンダイとの共同企画で「美少女戦士セーラームーン」と4ブランドの協業商品を販売し、大好評となりました。さらに、バッグを始めスイーツやかわいい小物など、大人気の「ふなっしー」とのコラボで大きな話題となりました。その他に、ディズニー映画「シンデレラ」の公開を記念した「シンデレラ」シリーズのバッグや小物、サンリオの人気キャラクター「マイメロディ」の40周年を記念したコラボレーションシリーズなど、話題性のある商品を販売いたしました。

ジュエリー事業においては、ブライダル強化とK18商品を中心に、サマンサティアラの人気シリーズ「Swingle〜スウィングル〜」や「フラワーレターズ」などが堅調に推移いたしました。また、昨年度に大人気シリーズをプロデュースし話題となった「Samantha Tiara」のプロモーションモデル兼コラボレートデザイナーでもある紗栄子さんとのコラボレーションラインの第2弾の新作ジュエリーを販売いたしました。

アパレル事業においては、株式会社ルミネと共同開発した新ブランド「And Couture(アンド クチュール)」がデビューいたしました。当ブランドは、デベロッパーであるルミネと連携し、コンセプトづくりや内装の段階から、ルミネ独自の世界観に合わせた商品開発が可能となり、ルミネのお客様の感動を創造することができる提案をしてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は114億96百万円（前年同期比11.4%増）、売上総利益は77億30百万円（前年同期比11.3%増）となりましたが、積極的な新規出店に伴う人件費や減価償却費などの先行投資やプロモーション活動に伴う販促費が増加したため、営業利益は11億8百万円（前年同期比25.0%減）、経常利益は11億33百万円（前年同期比22.2%減）、四半期純利益は5億94百万円（前年同期比26.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は237億88百万円であり、前連結会計年度末と比較して18億2百万円増加しております。主な増加要因は、受取手形及び売掛金が6億29百万円、商品及び製品が7億68百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

総負債は135億35百万円であり、前連結会計年度末と比較して14億18百万円増加しております。主な増加要因は、長期借入金が13億8百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産は102億52百万円であり、前連結会計年度末と比較して3億83百万円増加しております。主な増加要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成27年4月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,557,379	3,343,139
受取手形及び売掛金	3,271,427	3,900,910
商品及び製品	7,535,192	8,304,009
仕掛品	30,509	29,390
原材料及び貯蔵品	452,530	408,731
その他	1,045,461	1,113,062
貸倒引当金	△1,361	△1,494
流動資産合計	15,891,139	17,097,749
固定資産		
有形固定資産	1,847,671	2,170,900
無形固定資産		
のれん	813,792	790,108
その他	470,853	590,722
無形固定資産合計	1,284,645	1,380,831
投資その他の資産		
差入保証金	2,369,217	2,582,283
その他	593,630	556,576
投資その他の資産合計	2,962,847	3,138,859
固定資産合計	6,095,164	6,690,591
資産合計	21,986,303	23,788,341
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,452,270	2,772,052
短期借入金	108,600	156,520
1年内返済予定の長期借入金	960,864	1,356,578
未払法人税等	1,472,905	304,173
賞与引当金	244,736	558,710
その他	1,729,129	1,940,363
流動負債合計	6,968,504	7,088,398
固定負債		
長期借入金	5,031,376	6,339,463
その他	117,554	108,086
固定負債合計	5,148,930	6,447,549
負債合計	12,117,435	13,535,947

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,132,600	2,132,600
資本剰余金	2,252,600	2,252,600
利益剰余金	5,373,964	5,721,775
株主資本合計	9,759,164	10,106,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,651	46,248
為替換算調整勘定	△139,856	△131,002
その他の包括利益累計額合計	△105,204	△84,753
少数株主持分	214,908	230,171
純資産合計	9,868,868	10,252,393
負債純資産合計	21,986,303	23,788,341

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	10,320,522	11,496,584
売上原価	3,374,190	3,765,591
売上総利益	6,946,331	7,730,993
販売費及び一般管理費	5,468,567	6,622,741
営業利益	1,477,763	1,108,251
営業外収益		
受取利息	27	39
補助金収入	692	1,827
為替差益	—	33,566
その他	1,268	1,072
営業外収益合計	1,988	36,506
営業外費用		
支払利息	10,474	7,998
為替差損	9,418	—
その他	2,510	3,250
営業外費用合計	22,403	11,249
経常利益	1,457,349	1,133,508
特別損失		
固定資産除却損	700	19,456
特別損失合計	700	19,456
税金等調整前四半期純利益	1,456,649	1,114,051
法人税、住民税及び事業税	553,292	331,724
法人税等調整額	98,774	177,832
法人税等合計	652,066	509,556
少数株主損益調整前四半期純利益	804,582	604,494
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4,238	9,611
四半期純利益	808,820	594,883

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	804,582	604,494
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,049	11,596
為替換算調整勘定	16,219	14,505
その他の包括利益合計	22,268	26,102
四半期包括利益	826,851	630,597
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	828,236	615,334
少数株主に係る四半期包括利益	△1,385	15,263

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、「ファッションブランドビジネス」という単一のセグメントであるため、記載を省略しております。